

調査結果（平成19年全国物価地域差指数）

1 広島県の物価水準～全国からみた広島県，中国地方のすがた～

（1）総合指数

広島県の総合指数は、全国平均を100とすると全国平均と同水準の100.0。全国で6番目に高い。

都道府県別の物価水準を全国物価地域差指数（全国=100）で見ると、広島県の総合指数は100.0で、全国で6番目に高く、中国地方5県の中で最も高い。（表1）

表1 都道府県別総合指数(抜粋)
(全国平均=100)

順位	都道府県名	総合指数
1	東京都	108.5
2	神奈川県	104.8
3	京都府	102.8
4	大阪府	102.0
5	兵庫県	100.1
6	広島県	100.0
14	広島根県	99.2
22	岡山県	97.9
27	山口県	97.2
29	鳥取県	96.8
43	愛媛県	95.7
43	熊本県	95.7
45	宮崎県	94.9
46	群馬県	94.7
47	沖縄県	91.9

全国で最も高いのは、東京都（108.5）であり、次いで、神奈川県（104.8）、京都府（102.8）などとなっている。

また、全国で最も低いのは、沖縄県（91.9）であり、次いで群馬県（94.7）、宮崎県（94.9）などとなっている。

（表1，図1）

地方別にみると、全国平均より高い地方は、関東地方（102.3）と近畿地方（100.9）となっている。中国地方の総合指数は、98.6で、中国地方5県は、全国順位で、6，14，22，27，29番目を占める。（表1，図2）

広島県は、中国地方の中で最も物価水準が高く（100.0）、最も低いのは鳥取県（96.8）である。（表1）

図1 都道府県別総合指数(全国平均=100)

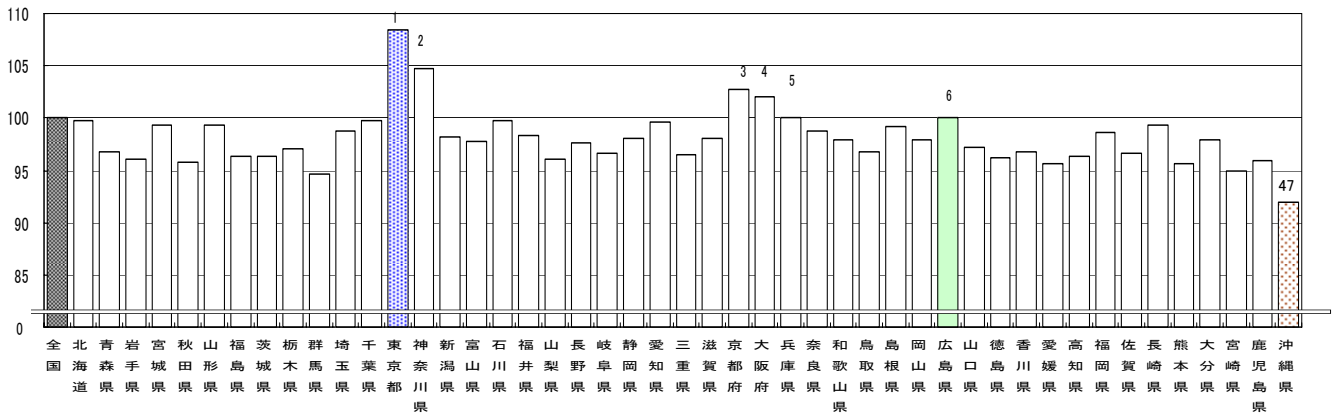
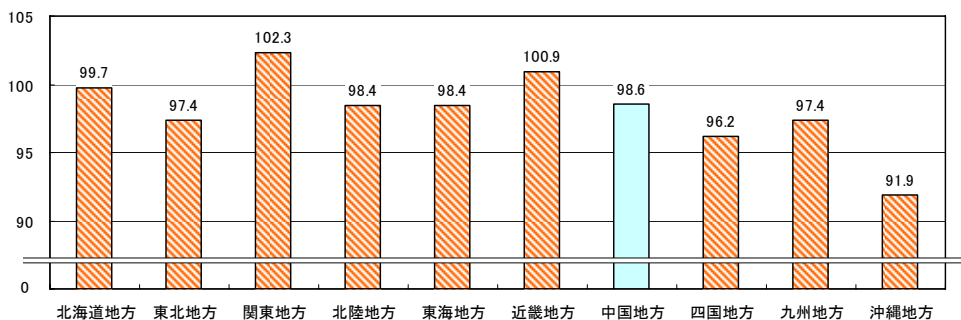


図2 地方別総合指数(全国平均=100)



(2) これまでの調査結果との比較

広島県の物価水準が全国平均以上となったのは、平成4年以來。

比較可能な昭和62年以降の5回の調査結果から都道府県における物価水準の推移をみると、連続して、東京都、神奈川県、京都府が1位から3位となっており、大都市圏を有する都府県での物価水準が高くなっている。一方、物価水準の低い都道府県は、四国、九州、沖縄地方の県に多くなっている。

広島県の物価水準をみると、昭和62年は全国で25位と物価水準は低い県となっていたが、平成に入ると順位を上げ、平成19年には全国で6位の物価水準の県となった。(表2)

また、全国の総合指数の最も高い都道府県と最も低い都道府県との差をみると、昭和62年、平成4年は15ポイント台の差であるが、平成9年には18.4ポイントまで広がり、平成14年、19年には16ポイント台に縮小している。

広島県の指数の動きを全国の総合指数の最も高い都道府県と最も低い都道府県との差でみると、高い都道府県に近づく傾向がみられる。(表3、図3)

表2 都道府県別総合指数の推移(全国平均=100)

昭和62年			平成4年			平成9年			平成14年			平成19年		
順位	都道府県名	総合指数	順位	都道府県名	総合指数	順位	都道府県名	総合指数	順位	都道府県名	総合指数	順位	都道府県名	総合指数
1	東京都	109.5	1	東京都	109.0	1	東京都	112.5	1	東京都	108.7	1	東京都	108.5
2	神奈川県	105.2	2	神奈川県	105.1	2	神奈川県	108.3	2	神奈川県	106.1	2	神奈川県	104.8
3	京都府	103.2	3	京都府	102.0	3	京都府	104.1	3	京都府	102.4	3	京都府	102.8
25	広島県	98.5	9	広島県	100.2	16	広島県	99.7	11	広島県	99.4	6	広島県	100.0
45	熊本県	95.3	45	沖縄県	94.8	45	愛媛県	95.4	45	熊本県	94.4	45	宮崎県	94.9
46	佐賀県	95.2	46	鹿児島県	94.4	46	群馬県	95.3	46	宮崎県	93.4	46	群馬県	94.7
47	宮崎県	94.0	47	宮崎県	93.9	47	沖縄県	94.1	47	沖縄県	92.3	47	沖縄県	91.9

図3 全国総合指数の格差と広島県格差

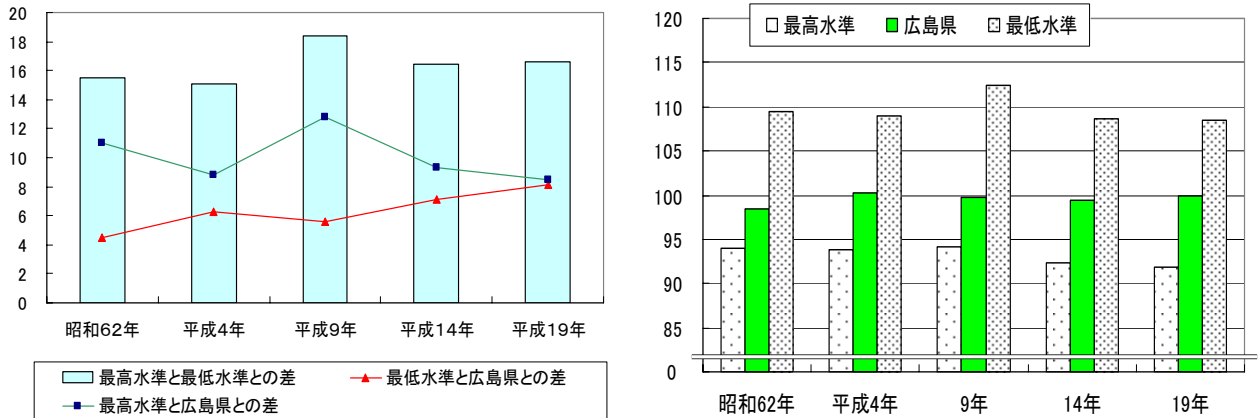


表3 全国総合指数の格差と広島県格差

	昭和62年	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年
広島県	98.5	100.2	99.7	99.4	100.0
最高水準	109.5(東京)	109.0(東京)	112.5(東京)	108.7(東京)	108.5(東京)
最低水準	94.0(宮崎)	93.9(宮崎)	94.1(沖縄)	92.3(沖縄)	91.9(沖縄)
最高水準と最低水準との差	15.5	15.1	18.4	16.4	16.6
最高水準と広島県との差	11.0	8.8	12.8	9.3	8.5
最低水準と広島県との差	4.5	6.3	5.6	7.1	8.1

(3) 大分類別指数

広島県で全国平均と比較して最も物価水準が高い費目は「被服及び履物」。
最も物価水準が低い費目は「住居」。

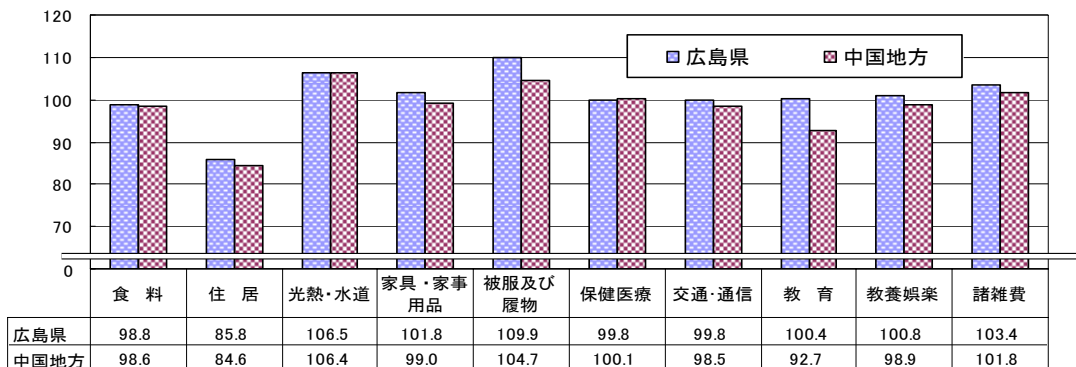
ア 総合指数及び大分類別指数の比較

広島県の物価水準を大分類別にみると、「被服及び履物」(109.9)、「光熱・水道」(106.5)、「諸雑費」(103.4)、「家具・家事用品」(101.8)、「教養娯楽」(100.8)、「教育」(100.4)の6費目が全国平均より高く、「住居」(85.8)、「食料」(98.8)、「保健医療」(99.8)、「交通・通信」(99.8)の4費目が全国平均より低くなっている。

中国地方の物価水準を大分類別にみると、「光熱・水道」(106.4)、「被服及び履物」(104.7)、「諸雑費」(101.8)、「保健医療」(100.1)の4費目が全国平均より高く、「住居」(84.6)、「教育」(92.7)、「交通・通信」(98.5)、「食料」(98.6)、「教養娯楽」(98.9)、「家具・家事用品」(99.0)の6費目が全国平均より低くなっている。

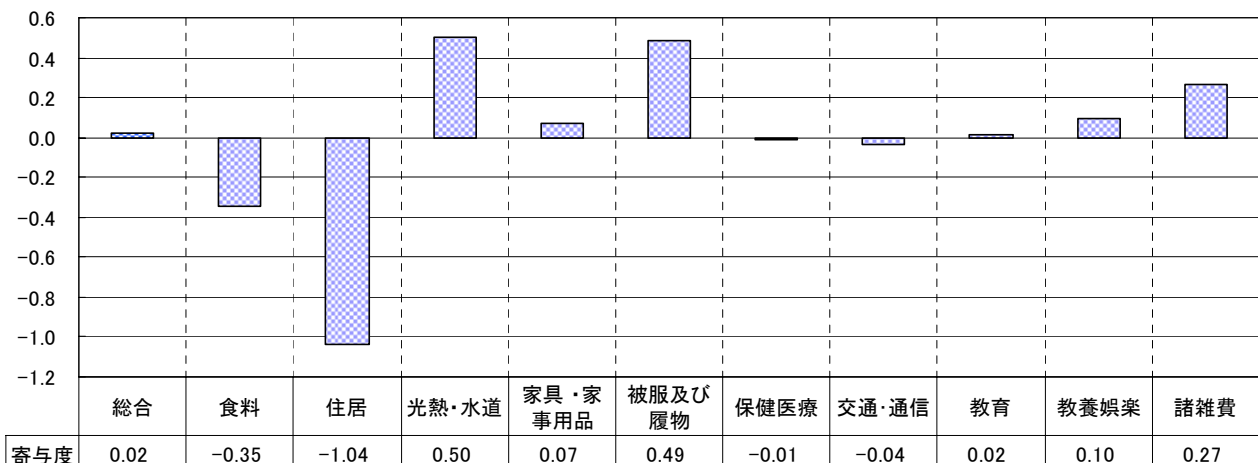
広島県と中国地方の中で最も差が大きい費目は「教育」で、7.7ポイントの差がある。これは、広島県のみが中国地方5県の中で全国平均より高く、他の4県が80台の指数にとどまっていることが要因とかがえる。(表5、図4)

図4 広島県及び中国地方大分類別指数(全国平均=100)



総合指数に対する大分類別寄与度でみると、総合指数の押し上げ要因となっている費目は「光熱・水道」(0.50)、「被服及び履物」(0.49)、「諸雑費」(0.27)などである。一方、総合指数の押し下げ要因となっている費目は、「住居」(▲1.04)、「食料」(▲0.35)などである。(図5)

図5 総合指数に対する大分類別寄与度(広島県)



イ 各都道府県水準との比較

大分類別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との差をみると、「住居」が 80.0 ポイントと最も大きく、最高水準の東京都（146.7）は、最低水準の沖縄県（66.7）の約 2.2 倍となっている。次いで、「被服及び履物」が 51.1 ポイントの差となっている。一方、差が最も小さい費目は「保健医療」で 4.7 ポイントの差となっている。

広島県の大分類別の物価水準と最も高い都道府県・最も低い都道府県の差をみると、広島県の「住居」（85.8）は、最高水準の東京都（146.7）と 60.9 ポイントの差があり、最高水準との差が最も大きい費目となっている。一方、最低水準との差が最も大きい広島県の費目は「被服及び履物」（109.9）で、最低水準の沖縄県（66.7）と 43.2 ポイントの差となっている。また、広島県の物価水準と最も高い都道府県・最も低い都道府県との差が小さい費目は「保健医療」（99.8）で、最高水準との差が 2.6 ポイント、最低水準との差が 2.1 ポイントとなっている。

（表 4、図 6）

図6 広島県大分類別物価水準（最高・最低水準の都道府県との比較）（全国平均=100）

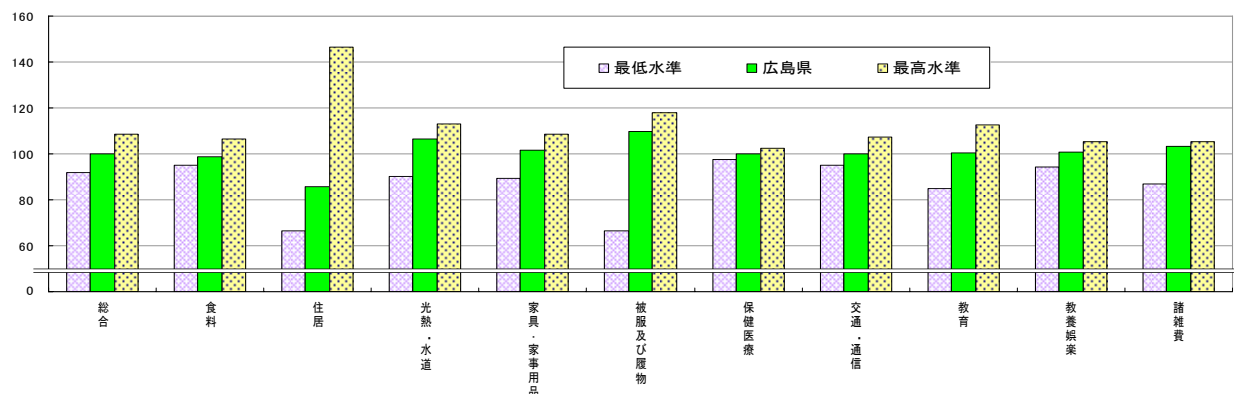


表4 広島県大分類別物価水準（最高・最低水準の都道府県との比較）（全国平均=100）

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
広島県	100.0	98.8	85.8	106.5	101.8	109.9	99.8	99.8	100.4	100.8	103.4
最高水準	108.5(東京)	106.4(東京)	146.7(東京)	113.1(青森)	108.4(長崎)	117.8(東京)	102.4(長崎)	107.4(東京)	112.5(東京)	105.5(東京)	105.3(東京)
最低水準	91.9(沖縄)	95.1(岩手)	66.7(沖縄)	90.0(山梨)	89.2(群馬)	66.7(沖縄)	97.7(福井)	95.0(沖縄)	84.8(富山・島根)	94.3(沖縄)	86.8(岩手)
最高水準との差	8.5	7.6	60.9	6.6	6.6	7.9	2.6	7.6	12.1	4.7	1.9
最低水準との差	8.1	3.7	19.1	16.5	12.6	43.2	2.1	4.8	15.6	6.5	16.6

ウ 大分類別指数ごとの比較

(ア) 食料

広島県の指数は 98.8（全国第 22 位）で、全国平均と比較して 1.2 ポイント低い。

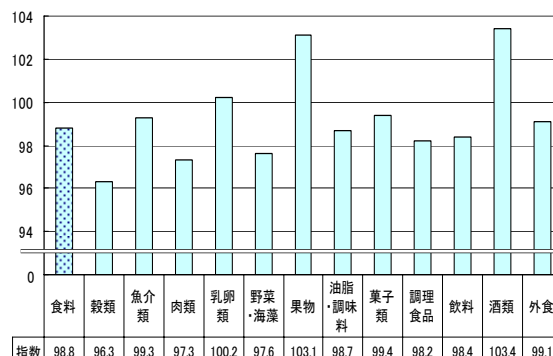
これは、「穀類」（96.3）、「肉類」（97.3）、「野菜・海藻」（97.6）などが全国平均より低いためである。（表 5、図 7）

中国地方の指数は 98.6 となっており、広島県の指数は、中国地方よりも 0.2 ポイント高い。

（図 4）

中国地方 5 県の中では、島根県が 103.7（全国第 3 位）で最も高く、岡山県が 95.8（同 41 位）で最も低い。（表 5）

図7 食料中分類別指数（全国平均=100）



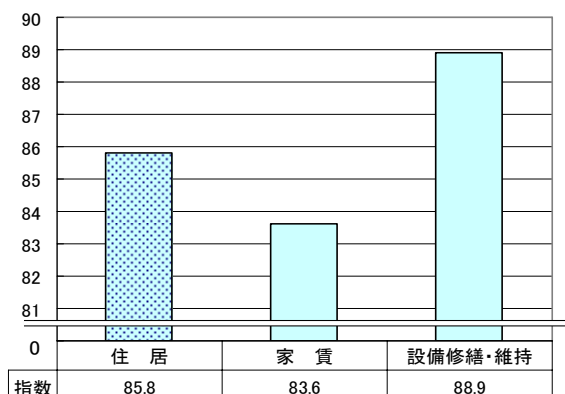
(イ) 住居

広島県の指数は 85.8 (全国第 30 位) で、全国平均と比較して 14.2 ポイント低く、広島県の大分類別費目の中で最も低い費目である。これは、「家賃」(83.6) が低いためである。(表 4, 5, 図 8)

中国地方の指数は 84.6 となっており、広島県の指数は、中国地方よりも 1.2 ポイント高い。(図 4)

中国地方 5 県の中では、島根県が 89.5 (全国第 18 位) で最も高く、岡山県が 81.2 (同 39 位) で最も低い。(表 5)

図8 住居中分類別指数(全国平均=100)



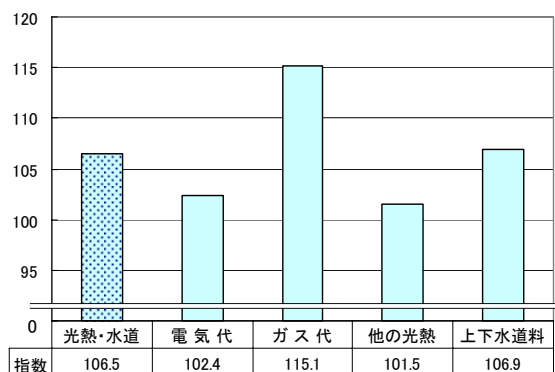
(ウ) 光熱・水道

広島県の指数は 106.5 (全国第 12 位) で、全国平均と比較して 6.5 ポイント高い。これは、光熱・水道の中分類指数すべてが全国平均より高く、特に、「ガス代」(115.1), 「上下水道料」(106.9) が高いためである。(表 5, 図 9)

中国地方の指数は 106.4 となっており、広島県の指数は、中国地方よりも 0.1 ポイント高い。(図 4)

中国地方 5 県の中では、島根県が 109.9 (全国順位第 5 位) で最も高く、鳥取県が 102.5 (同 23 位) で最も低いが、5 県すべてが全国平均より高くなっている。(表 5)

図9 光熱・水道中分類別指数 (全国平均=100)



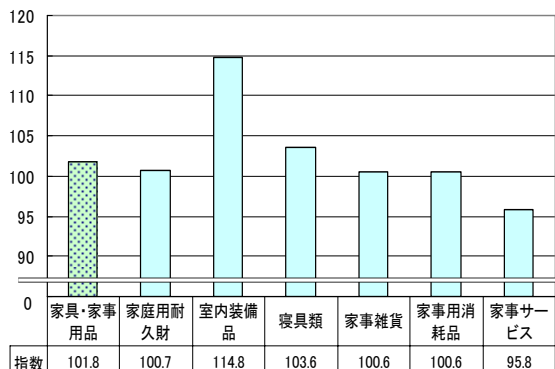
(エ) 家具・家事用品

広島県の指数は 101.8 (全国第 14 位) で、全国平均と比較して 1.8 ポイント高い。これは、「室内装備品」(114.8) などが高いためである。(表 5, 図 10)

中国地方の指数は 99.0 となっており、広島県の指数は、中国地方よりも 2.8 ポイント高い。(図 4)

中国地方 5 県の中では、広島県が最も高く、山口県が 92.5 (全国第 43 位) で最も低くなっており、2 県間には 9.3 ポイントの差がある。(表 5)

図10 家具・家事用品中分類別指数 (全国平均=100)



(オ) 被服及び履物

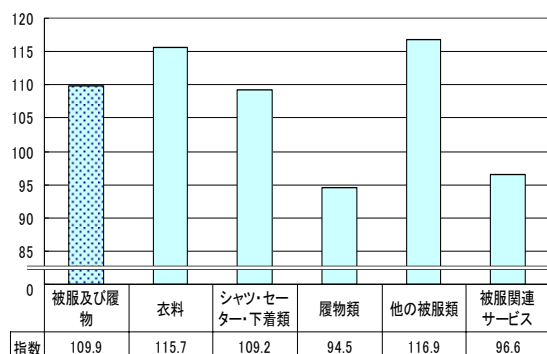
広島県の指数は109.9（全国第4位）で、全国平均と比較して9.9ポイント高く、広島県の大分類別費目の中で、最も高い費目である。これは、「衣料」（115.7）などが高いためである。（表4、5、図11）

中国地方の指数は104.7となっており、広島県の指数は、中国地方よりも5.2ポイント高い。（図4）

中国地方5県の中では、岡山県が111.4（全国第2位）で最も高く、鳥取県が92.6（同33位）で最も低くなっており、2県間には18.8ポイントの差がある。（表5）

図11 被服及び履物中分類別指数

（全国平均=100）



(カ) 保健医療

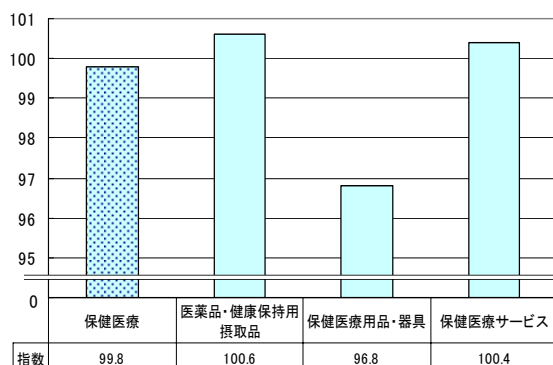
広島県の指数は99.8（全国第25位）で、全国平均と比較して0.2ポイント低い。これは、「保健医療用品・器具」（96.8）が低いためである。（表5、図12）

中国地方の指数は100.1となっており、広島県の指数は、中国地方よりも0.3ポイント低い。（図4）

中国地方5県の中では、島根県が101.8（全国第2位）で最も高く、山口県が99.7（同28位）で最も低い。（表5）

図12 保健医療中分類別指数

（全国平均=100）



(キ) 交通・通信

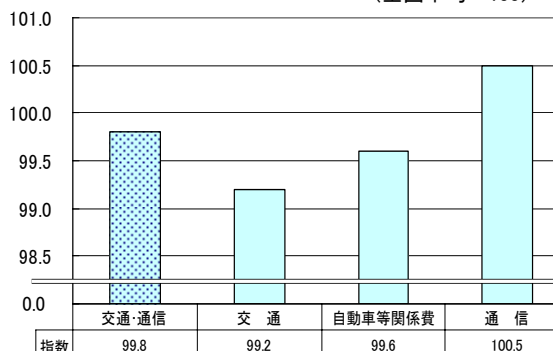
広島県の指数は99.8（全国第8位）で、全国平均と比較して0.2ポイント低い。（表5、図13）

中国地方の指数は98.5となっており、広島県の指数は、中国地方よりも1.3ポイント高い。（図4）

中国地方5県の中では、広島県が最も高く、山口県が97.5（全国第32位）と最も低い。（表5）

図13 交通・通信中分類別指数

（全国平均=100）



(ク) 教育

広島県の指数は100.4（全国第9位）で、全国平均と比較して0.4ポイント高い。

（表5、図14）

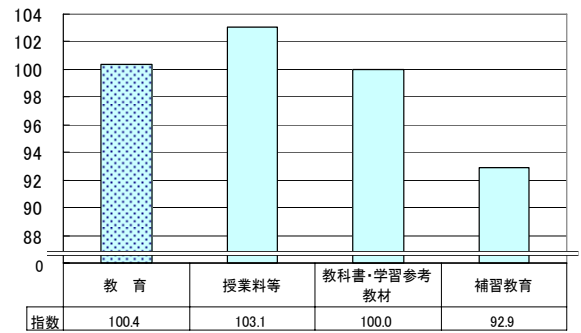
中国地方の指数は92.7となっており、広島県の指数は、中国地方よりも7.7ポイント高い。

（図4）

中国地方5県の中では、広島県が最も高く、島根県が84.8（全国第46位）で最も低くなっており、2県間には15.6ポイントの差がある。

（表5）

図14 教育中分類別指数(全国平均=100)



(ケ) 教養娯楽

広島県の指数は100.8（全国第8位）で、全国平均と比較して0.8ポイント高い。

（表5、図15）

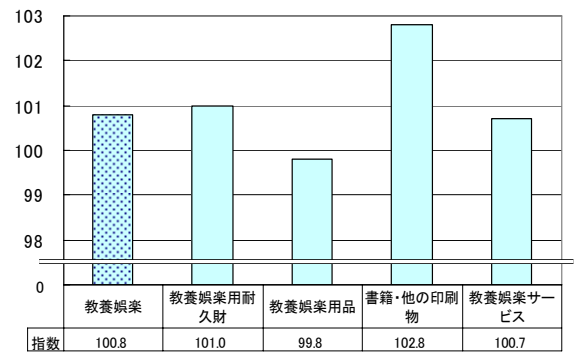
中国地方の指数は98.9となっており、広島県の指数は、中国地方よりも1.9ポイント高い。（図4）

中国地方5県の中では、広島県が最も高く、山口県が95.4（全国第43位）と最も低い。

（表5）

図15 教養娯楽中分類別指数

(全国平均=100)



(コ) 諸雑費

広島県の指数は103.4（全国第7位）で、全国平均と比較して3.4ポイント高い。これは、「身の回り用品」（122.8）などが高いためである。（表5、図16）

中国地方の指数は101.8となっており、広島県の指数は中国地方よりも1.6ポイント高い。

（図4）

中国地方5県の中では、岡山県が104.4（全国第3位）で最も高く、島根県が95.3（同36位）で最も低くなっており、2県間には9.1ポイントの差がある。（表5）

図16 諸雑費中分類別指数(全国平均=100)

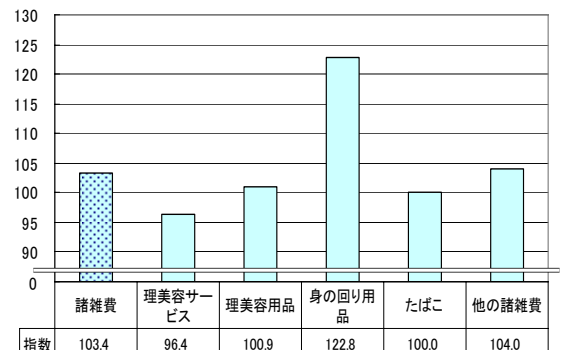


表5 大分類別、都道府県別指数(抜粋) (全国平均=100)

食料			住居			光熱・水道			家具・家事用品			被服及び履物		
1	東京都	106.4	1	東京都	146.7	1	青森県	113.1	1	長崎県	108.4	1	東京都	117.8
2	京都府	103.8	2	神奈川県	129.5	2	北海道	112.4	2	京都府	105.8	2	岡山県	111.4
3	島根県	103.7	3	埼玉県	109.4	3	山形県	112.3	3	東京都	104.8	3	神奈川県	110.3
4	福井県	103.5	4	大阪府	106.9	4	佐賀県	110.4	4	神奈川県	104.1	4	広島県	109.9
5	神奈川県	103.0	5	千葉県	104.8	5	島根県	109.9	5	香川県	103.5	5	福岡県	108.4
43	秋田県	95.5	42	徳島県	79.2	43	神奈川県	94.9	43	山口県	92.5	43	埼玉県	86.2
44	徳島県	95.4	42	宮崎県	79.2	44	埼玉県	94.2	44	長野県	91.7	44	群馬県	83.4
44	熊本県	95.4	44	香川県	77.9	45	大阪府	93.9	45	福井県	90.5	45	岩手県	83.3
46	佐賀県	95.2	45	高知県	77.2	46	滋賀県	92.6	46	山梨県	89.3	46	茨城県	81.9
47	岩手県	95.1	46	愛媛県	70.3	47	山梨県	90.0	47	群馬県	89.2	47	沖縄県	66.7
			47	沖縄県	66.7									
3	島根県	103.7	18	島根県	89.5	5	島根県	109.9	14	広島県	101.8	2	岡山県	111.4
18	山口県	99.2	30	広島県	85.8	11	山口県	107.4	15	岡山県	101.4	4	広島県	109.9
21	鳥取県	99.0	32	鳥取県	85.6	12	広島県	106.5	19	島根県	100.5	25	山口県	96.6
22	広島県	98.8	37	山口県	83.9	16	岡山県	105.7	40	鳥取県	93.8	28	島根県	94.0
41	岡山県	95.8	39	岡山県	81.2	23	鳥取県	102.5	43	山口県	92.5	33	鳥取県	92.6

保健医療			交通・通信			教育			教養娯楽			諸雑費		
1	長崎県	102.4	1	東京都	107.4	1	東京都	112.5	1	東京都	105.5	1	東京都	105.3
2	島根県	101.8	2	神奈川県	104.0	2	京都府	112.0	2	京都府	102.5	2	愛知県	104.5
3	茨城県	101.6	3	大阪府	102.9	3	神奈川県	111.4	3	神奈川県	102.3	3	岡山県	104.4
4	北海道	101.5	4	長崎県	100.9	4	大分県	111.1	4	兵庫県	101.3	4	京都府	103.9
5	大分県	101.5	5	京都府	100.8	5	大阪府	111.0	5	愛知県	101.2	5	神奈川県	103.5
												5	滋賀県	103.5
43	沖縄県	98.6	43	茨城県	96.3	43	山口県	86.8	43	山口県	95.4	43	山形県	93.1
44	山梨県	98.4	44	栃木県	96.2	44	長野県	86.3	44	福井県	95.3	44	青森県	92.5
45	秋田県	98.3	45	宮崎県	95.9	45	青森県	86.0	45	鹿児島県	94.9	45	秋田県	88.0
46	鹿児島県	98.2	46	群馬県	95.7	46	富山県	84.8	46	福島県	94.4	46	沖縄県	87.5
47	福井県	97.7	47	沖縄県	95.0	46	島根県	84.8	47	沖縄県	94.3	47	岩手県	86.8
2	島根県	101.8	8	広島県	99.8	9	広島県	100.4	8	広島県	100.8	3	岡山県	104.4
8	鳥取県	100.7	23	島根県	98.3	39	鳥取県	89.0	11	岡山県	100.2	7	広島県	103.4
14	岡山県	100.3	28	鳥取県	97.8	40	岡山県	88.3	31	鳥取県	97.3	13	山口県	100.6
25	広島県	99.8	30	岡山県	97.6	43	山口県	86.8	38	島根県	96.4	34	鳥取県	95.9
28	山口県	99.7	32	山口県	97.5	46	島根県	84.8	43	山口県	95.4	36	島根県	95.3

エ 総合指数に対する中分類別寄与度

最も押し下げている「住居」は、すべての費目がマイナスに寄与している。

最も押し上げている「光熱・水道」も、すべての費目がプラスに寄与している。

押し上げ要因となっている「被服及び履物」は、「衣料」が大きくプラスに寄与している。

「食料」は、「酒類」、「果物」がわずかにプラスに寄与しているが、他の費目が大きく押し下げている。

「教育」の寄与度は0.02であるが、「授業料等」が0.09プラスに、「補習教育」が0.07マイナスに寄与している。(表6, 図17, 18)

図17 総合指数に対する大分類別寄与度

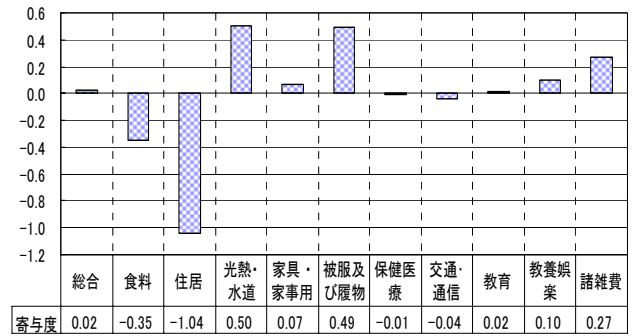


図18 総合指数に対する中分類別寄与度

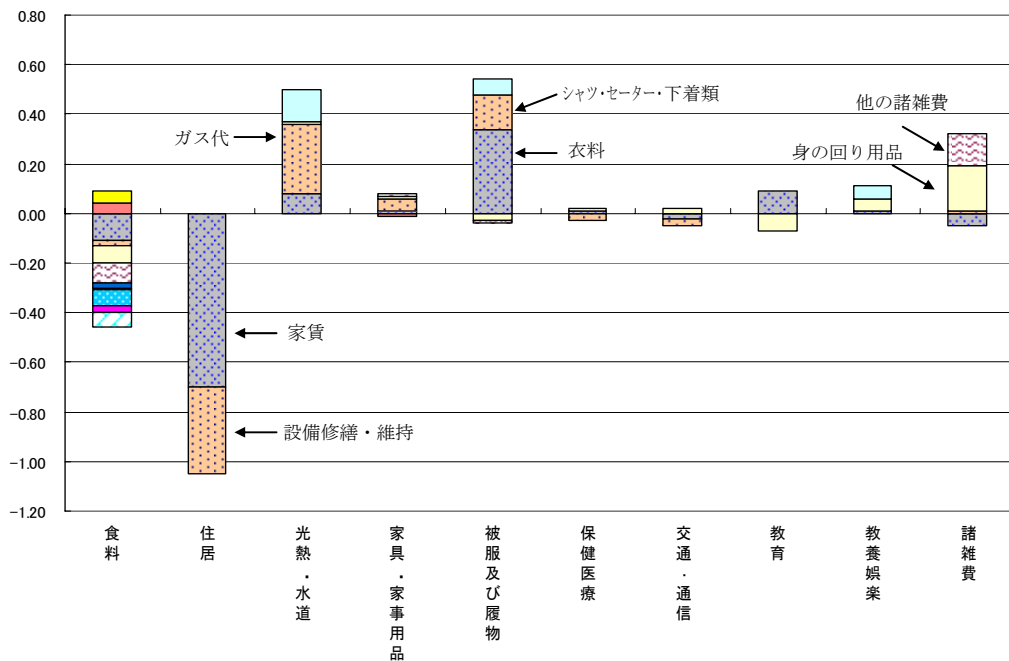


表6 総合指数に対する中分類別寄与度

総合	食料													
	穀類	魚介類	肉類	乳卵類	野菜・海藻	果物	油脂・調味料	菓子類	調理食品	飲料	酒類	外食		
0.02	-0.35	-0.11	-0.02	-0.07	0.00	-0.08	0.04	-0.02	-0.01	-0.06	-0.03	0.05	-0.06	
	住居		光熱・水道	電気代	ガス代	他の光熱料	上下水道料	被服及び履物						
	-1.04	-0.70						-0.35	0.50	0.08	0.28	0.01	0.13	0.34
	家具・家事用品		寝具類	家事雑貨	家事用消耗品	家事サービス	衣料		シャツ・セーター・下着類	履物類	他の被服類	被服関連サービス	保健医療	
	0.07	0.01					0.05	0.01					0.00	0.01
	保健医療		交通・通信	交通	自動車等関係費	通信	教育		授業料等	教科書・学習参考教材	補習教育	教養娯楽		
	-0.01	0.01					-0.03	0.01				-0.04	-0.02	-0.03
	教養娯楽		書籍・他の印刷物	教養娯楽サービス	理美容サービス	理美容用品	身の回り用品	たばこ	他の諸雑費	諸雑費				
	0.10	0.01								0.00	0.05	0.05	0.27	-0.05

(4) 財・サービス分類別指数

ア 財指数

広島県の財（商品）の物価水準は101.6。全国順位第6位。
 「繊維製品」の物価水準は111.5。全国で3番目に高い。

広島県の財の物価水準は101.6で、全国平均より1.6ポイント高くなっている。
 財の内訳をみると、全国平均より高い財は、「工業製品」の中の「繊維製品」（111.5）、「電気・都市ガス・水道」（106.5）、「出版物」（102.6）などとなっている。
 全国平均より低い財は、「農水畜産物」の中の「他の農水畜産物」※（97.3）、「工業製品」の中の「食料工業製品」（98.3）となっている。
 財を各都道府県水準と比較すると、「電気・都市ガス・水道」（106.5）は、最高水準の青森県（115.8）と9.3ポイントの差が生じている。
 また、「工業製品」の中の「繊維製品」（111.5）は、最低水準の沖縄県（63.7）と47.8ポイントの大きな差が生じている。（表7、図19）
 ※ 他の農水畜産物：うるち米

図19 広島県の財の物価水準（最高・最低水準の都道府県との比較）（全国平均=100）

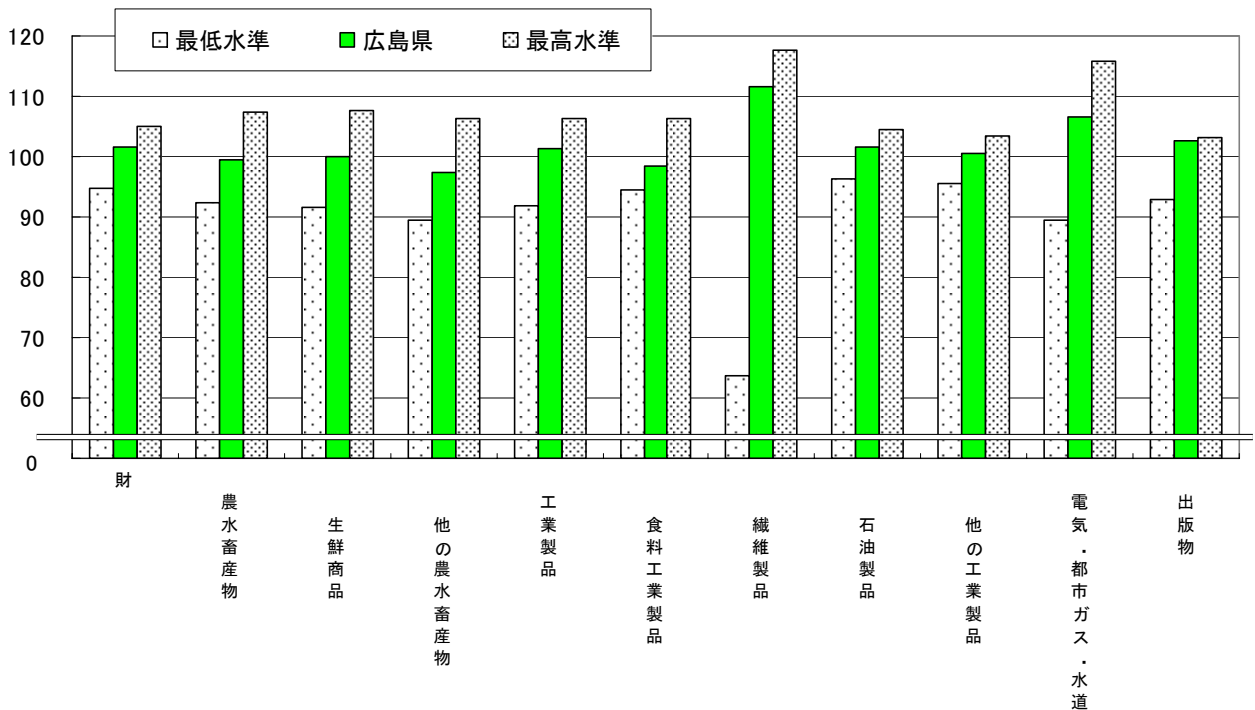


表7 広島県の財の物価水準（最高・最低水準の都道府県との比較）（全国平均=100）

	財	農水畜産物			工業製品	食料工業製品	繊維製品	石油製品	他の工業製品	電気・都市ガス・水道	出版物
		生鮮商品	他の農水畜産物								
広島県	101.6	99.6	100.0	97.3	101.2	98.3	111.5	101.5	100.5	106.5	102.6
最高水準	105.1(東京)	107.3(東京)	107.7(東京)	106.4(宮城)	106.3(東京)	106.4(東京)	117.7(東京)	104.6(島根)	103.5(東京)	115.8(青森)	103.2(石川)
最低水準	94.8(群馬)	92.3(熊本)	91.6(熊本)	89.6(徳島)	91.8(沖縄)	94.5(岩手)	63.7(沖縄)	96.2(埼玉)	95.6(山梨)	89.4(滋賀)	92.8(静岡)
最高水準との差	3.5	7.7	7.7	9.1	5.1	8.1	6.2	3.1	3.0	9.3	0.6
最低水準との差	6.8	7.3	8.4	7.7	9.4	3.8	47.8	5.3	4.9	17.1	9.8

中国地方における財の物価水準は 100.7 で、広島県 (101.6) は中国地方より 0.9 ポイント高くなっている。

財を費目別にみると、広島県が中国地方より低い費目は、「工業製品」の中の「食料工業製品」と「石油製品」である。

中国地方 5 県の財の物価水準を比較すると、島根県が 102.3 と全国第 3 位となっており、中国地方の中では最も高い。最も低い鳥取県 (98.7) との差は 3.6 ポイントとなっている。

島根県は、「工業製品」の中の「石油製品」が全国第 1 位、「食料工業製品」が第 2 位などとなっている。

また、「工業製品」の中の「繊維製品」は、岡山県が全国第 2 位、広島県が第 3 位となっている。(表 8, 図 20)

図 20 広島県及び中国地方の財の物価水準 (全国平均=100)

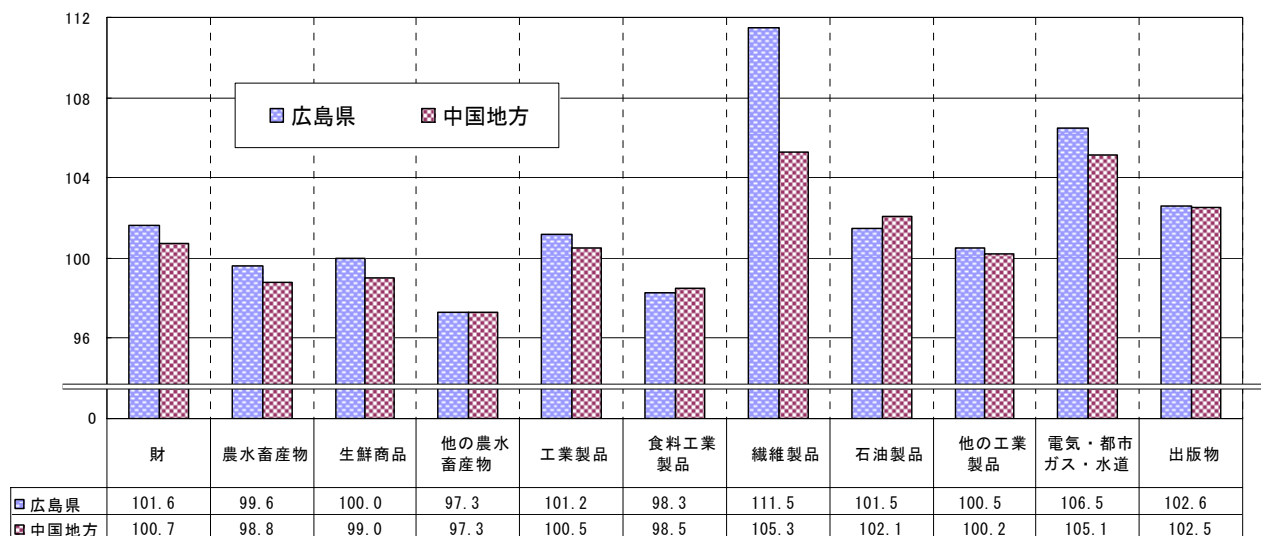


表 8 中国地方 5 県の財の物価水準 (全国平均=100)

財		農水畜産物				工業製品											
		生鮮商品		他の農水畜産物				食料工業製品									
3	島根県	102.3	6	島根県	102.6	6	島根県	103.0	19	山口県	100.1	7	島根県	101.3	2	島根県	104.1
6	広島県	101.6	15	広島県	99.6	13	広島県	100.0	21	島根県	99.8	8	広島県	101.2	11	鳥取県	100.7
13	岡山県	100.6	16	山口県	99.5	19	山口県	99.4	32	広島県	97.3	11	岡山県	100.8	24	広島県	98.3
20	山口県	99.5	29	岡山県	96.9	28	岡山県	97.1	39	岡山県	95.6	24	鳥取県	99.1	25	山口県	98.0
26	鳥取県	98.7	39	鳥取県	94.6	37	鳥取県	94.9	43	鳥取県	92.0	27	山口県	98.8	34	岡山県	96.5

財		工業製品				電気・都市ガス・水道		出版物						
		繊維製品		石油製品		他の工業製品								
2	岡山県	113.0	1	島根県	104.6	8	岡山県	100.8	9	島根県	108.6	8	岡山県	102.8
3	広島県	111.5	4	山口県	103.6	12	広島県	100.5	12	広島県	106.5	8	島根県	102.8
24	鳥取県	96.5	11	鳥取県	101.8	18	山口県	100.0	15	山口県	104.6	12	広島県	102.6
29	島根県	95.5	14	広島県	101.5	20	島根県	99.8	18	岡山県	103.7	12	鳥取県	102.6
34	山口県	93.4	21	岡山県	100.9	38	鳥取県	97.9	28	鳥取県	100.5	22	山口県	101.7

イ サービス指数

広島県のサービスの物価水準は全国平均より低く 98.0。
「一般サービス」の中の「民営家賃」は都道府県間の格差大。

広島県のサービスの物価水準は 98.0 で、全国平均より 2.0 ポイント低くなっている。

サービスの内訳をみると、いずれも全国平均より低く、特に、「一般サービス」の中の「民営家賃」は 85.7 と全国平均より 14.3 ポイントも低い水準となっている。

サービスを各都道府県水準と比較すると、「一般サービス」の中の「民営家賃」(85.7) は、最高水準の東京都(178.0)との差が 92.3 ポイント、最低水準の沖縄県(59.3)との差が 26.4 ポイントとなっており、都道府県間で大きな差が生じている。(表 9、図 21)

図 21 広島県のサービスの物価水準（最高・最低水準の都道府県との比較）

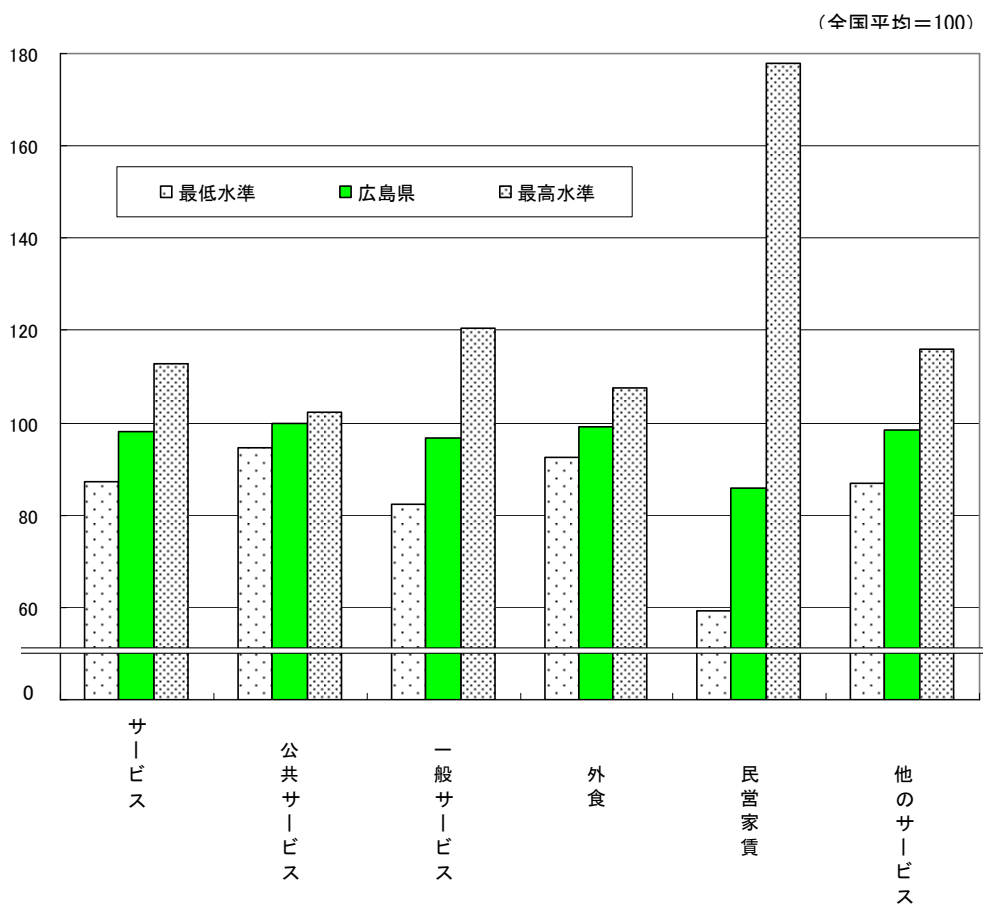


表 9 広島県のサービスの物価水準（最高・最低水準の都道府県との比較）

	サービス					
		公共サービス	一般サービス	外食	民営家賃	他のサービス
広島県	98.0	99.9	96.7	99.1	85.7	98.4
最高水準	112.7 (東京)	102.3 (山形)	120.6 (東京)	107.6 (福井)	178.0 (東京)	116.1 (東京)
最低水準	87.1 (沖縄)	94.5 (福井)	82.4 (沖縄)	92.5 (岡山)	59.3 (沖縄)	86.9 (宮崎)
最高水準との差	14.7	2.4	23.9	8.5	92.3	17.7
最低水準との差	10.9	5.4	14.3	6.6	26.4	11.5

中国地方におけるサービスの物価水準は 95.8 で、広島県 (98.0) は、2.2 ポイント高くなっており、すべてのサービスが中国地方より高い。

中国地方 5 県のサービスの物価水準を比較すると、全国平均より高いサービスは島根県、山口県、鳥取県の「一般サービス」の中の「外食」のみとなっており、岡山県は「外食」で全国第 47 位と最も低くなっている。(表 10、図 22)

図 2 2 広島県及び中国地方のサービスの物価水準 (全国平均=100)

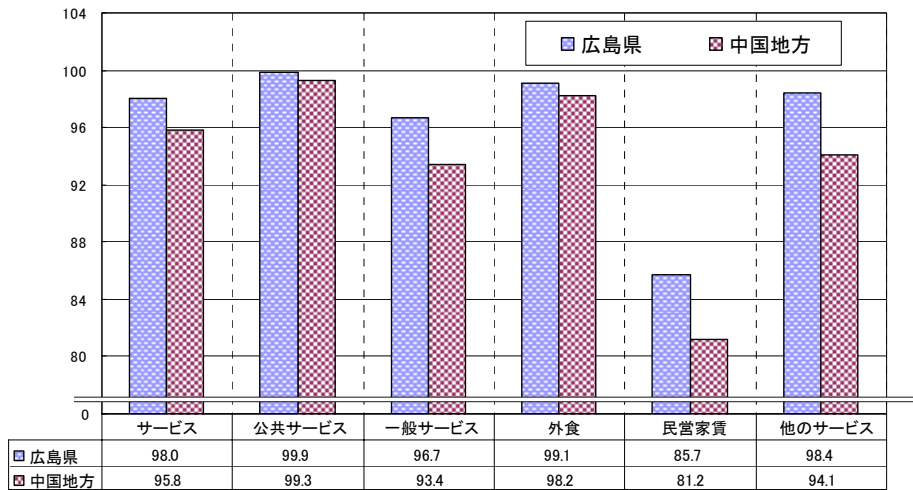


表 1 0 中国 5 県のサービスの物価水準

サービス		公共サービス		一般サービス		外食		民営家賃		他のサービス							
		順位	物価水準	順位	物価水準	順位	物価水準	順位	物価水準	順位	物価水準						
10	広島県	98.0	18	広島県	99.9	12	広島県	96.7	6	島根県	102.7	17	広島県	85.7	9	広島県	98.4
27	島根県	95.0	21	島根県	99.7	31	島根県	91.6	15	山口県	100.9	22	岡山県	81.4	27	岡山県	93.0
34	岡山県	94.5	28	岡山県	99.1	32	岡山県	91.4	16	鳥取県	100.7	26	島根県	79.7	33	山口県	91.2
35	鳥取県	94.2	35	山口県	98.4	33	鳥取県	91.2	26	広島県	99.1	29	鳥取県	76.5	36	鳥取県	90.4
37	山口県	94.1	38	鳥取県	98.2	34	山口県	91.0	47	岡山県	92.5	39	山口県	73.0	40	島根県	89.4

知っていますか？～全国物価地域差指数と消費者物価地域差指数～

消費者が日常生活の中で購入する、各種の財（商品）及びサービスの価格を総合して、物価水準の動向を指数で示したものが消費者物価指数で、物価水準に係る地域間の差を指数で示したものが地域差指数です。地域差指数には、消費者物価地域差指数と全国物価地域差指数があります。

消費者物価地域差指数は、毎月行われている小売物価統計調査をもとにして作成されています。毎年 1 回、全国平均を 100 とした都道府県庁所在市等の指数が公表されています。

全国物価地域差指数は、国全体の物価構造を把握することを目的として 5 年に 1 度行われている、全国物価統計調査の調査結果として公表されており、全国平均を 100 とした都道府県別の指数等が作成されています。最近では、平成 19 年に調査を実施しており、毎月調査である小売物価統計調査と比較すると、調査規模は大きくなっています。

調査名	目的	周期	品目数	調査市町村数	調査対象数 (店舗、事業所、世帯)
小売物価統計調査	物価変動の把握	毎月	509	167	約 53,000
全国物価統計調査	物価構造の把握	5年に1回	180*	673	約 173,000

※全国物価地域差指数算出には、小売物価統計調査結果、住宅・土地統計調査結果等も一部使用。

毎年公表される消費者物価地域差指数と、5 年ごとの公表ですが精度の高い全国物価地域差指数を、目的に応じて活用していただきたいと思ひます。

ウ 総合指数に対する財・サービス分類別寄与度

広島県の「財」と「サービス」を総合指数に対する寄与度でみると、「財」は押し上げ要因となっており、「サービス」は押し下げ要因となっている。

「財」の中では、「工業製品」の中の「繊維製品」、「電気・都市ガス・水道」などが押し上げ要因となっており、この2費目が押し上げに大きく寄与している。

「サービス」の中では、「一般サービス」の中の「民営家賃」が押し下げの寄与度が大きい。

(図 23, 24)

図 2 3 財の総合指数に対する寄与度

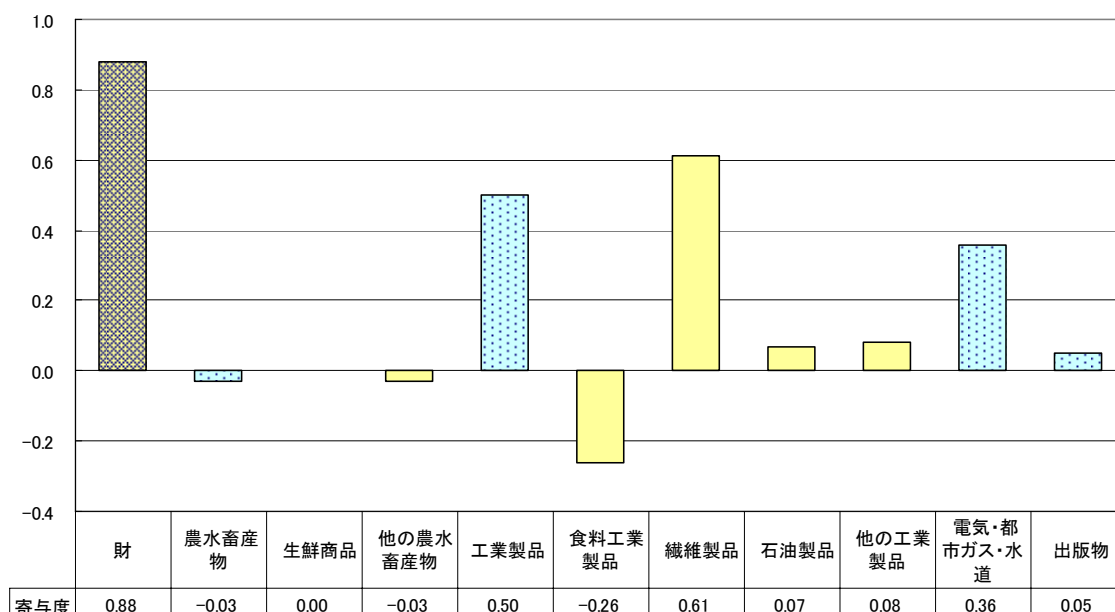
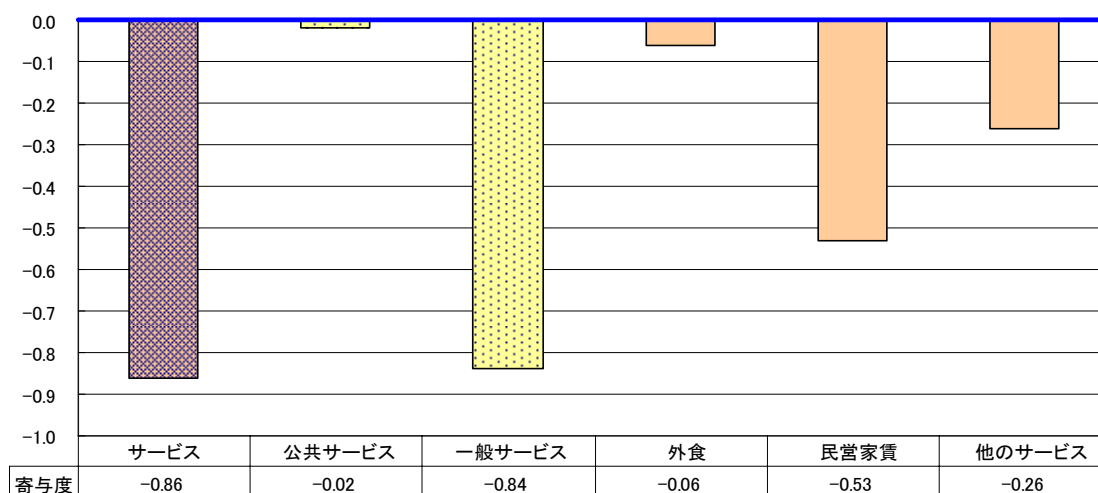


図 2 4 サービスの総合指数に対する寄与度



2 県内地域別物価水準

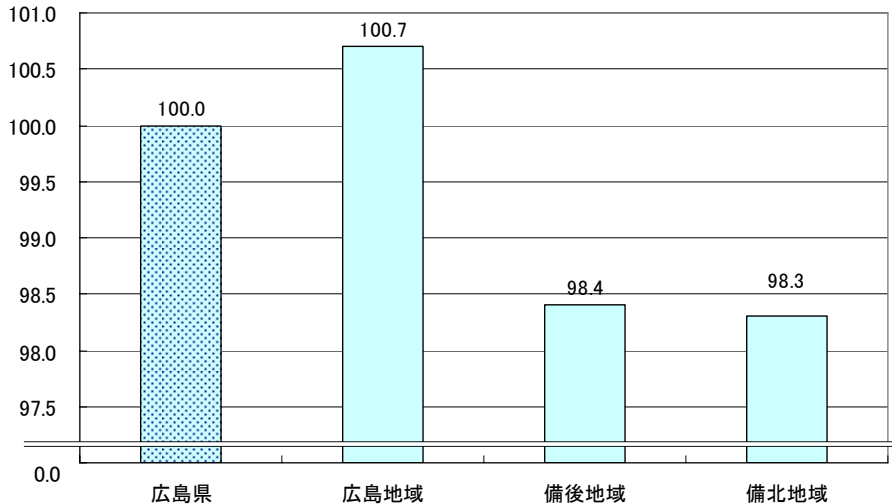
(1) 総合指数

広島地域の物価水準は、全国平均より高い。備後、備北地域は、全国平均より低く、ほぼ同水準。

広島県内を3地域に区分した各地域*における物価水準（全国平均=100）をみると、広島地域は100.7、次いで、備後地域が98.4、備北地域が98.3と、ほぼ同水準が続いている。（図25）

※ 広島県内を3地域に区分した各地域：「利用者のために」4ページ参照

図25 広島県内地域別物価水準（全国平均=100）



(2) 大分類別指数

3地域間で最も差が大きい費目は「被服及び履物」、最も差が小さい費目は「教養娯楽」。

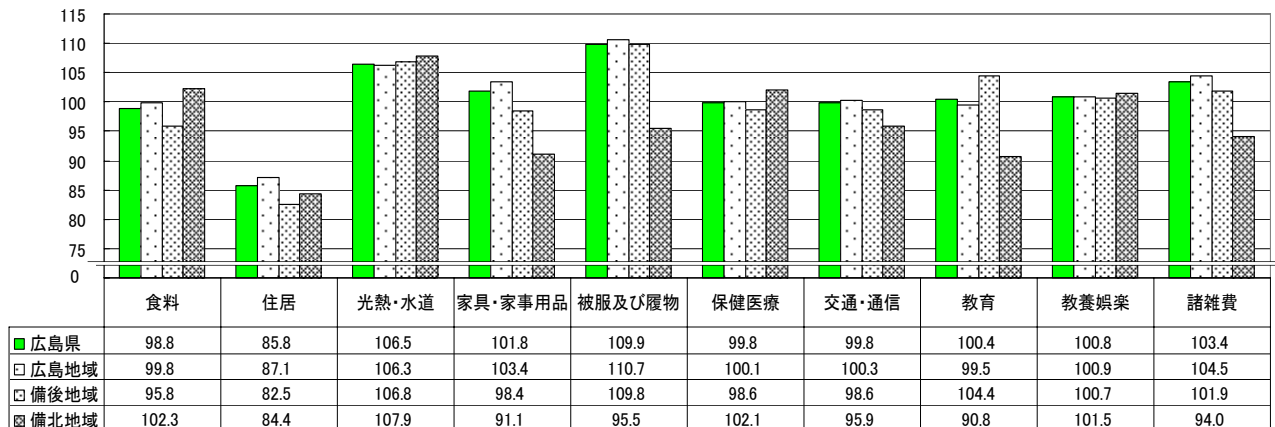
大分類別にみると、広島地域の「被服及び履物」が110.7と全国平均より10.7ポイント高く、3地域の中で最も高くなっている。

また、備後地域の「住居」が82.5と、全国平均より17.5ポイント低く、3地域の中で最も低くなっている。

3地域間で最も差が大きな費目は「被服及び履物」で、最も高い広島地域（110.7）と最も低い備北地域（95.5）との間に15.2ポイントの差がある。

また、3地域間で最も差が小さい費目は「教養娯楽」で、最も高い備北地域（101.5）と最も低い備後地域（100.7）との間は0.8ポイントの差にとどまっている。（図26）

図26 広島県内地域別、大分類別物価水準（全国平均=100）



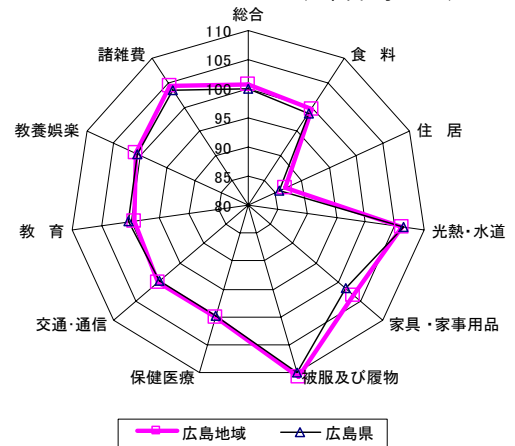
ア 広島地域

広島県の物価水準より高い費目は、「食料」「住居」「家具・家事用品」など8費目で、広島県より低い費目は、「光熱・水道」「教育」の2費目であるが、すべての費目において、広島県とほぼ同水準となっている。

広島地域が他の2地域よりも高い水準の費目は、「住居」「家具・家事用品」「被服及び履物」「交通・通信」「諸雑費」の5費目で、広島県の水準を押し上げている。

一方、「光熱・水道」は、「上下水道料」などの影響により、他の2地域より低い水準となっている。(図26, 27)

図27 広島地域と広島県の物価水準
(全国平均=100)



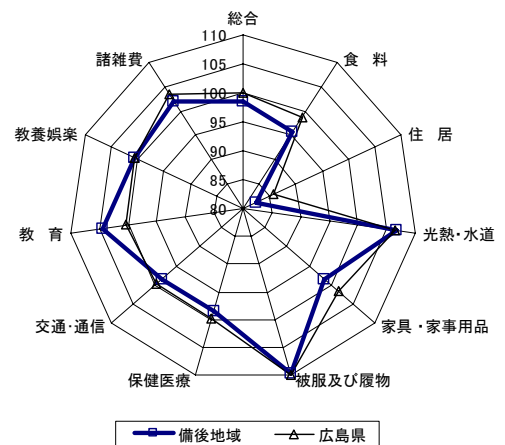
イ 備後地域

広島県の物価水準より高い費目は、「光熱・水道」「教育」の2費目で、広島県より低い費目は、「食料」「住居」「家具・家事用品」など8費目である。

他の2地域よりも高い「教育」(104.4)は広島県(100.4)より4.0ポイント高く、3地域の中で最も低い備北地域(90.8)と13.6ポイントの差があり、総合指数の押し上げ要因となっている。これは、「補習教育」などの影響による。

備後地域が他の2地域よりも低い水準の費目は、「食料」「住居」「保健医療」「教養娯楽」の4費目である。(図26, 28)

図28 備後地域と広島県の物価水準
(全国平均=100)



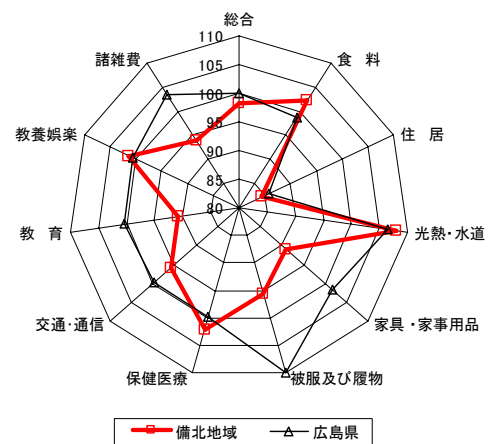
ウ 備北地域

広島地域、備後地域の各費目ごとの物価水準は、広島県とほぼ同水準であるが、備北地域は、広島県の水準と、差が大きい費目がある。

広島県の物価水準より高い費目は、「食料」「光熱・水道」「保健医療」「教養娯楽」の4費目である。

一方、広島県より低い費目は、「家具・家事用品」「被服及び履物」「交通・通信」などの6費目である。中でも、「家具・家事用品」「被服及び履物」については、それぞれ、「家事サービス」「シャツ・セーター類」などの影響で、広島県の水準を大きく下回っており、総合指数の押し下げ要因となっている。(図26, 29)

図29 備北地域と広島県の物価水準
(全国平均=100)



(3) 財・サービス分類別指数

ア 財指数

財（商品）の物価水準は、備北地域が他地域、広島県よりも高い。

財（商品）の物価水準は、備北地域が102.5と最も高く、次いで広島地域の102.2となっており、備後地域は99.7と全国平均より低く、広島県（101.6）の水準を押し下げている。

広島地域は「工業製品」の中の「繊維製品」、「電気・都市ガス・水道」などが他の2地域より高く、備北地域は「農水畜産物」の中の「生鮮商品」などが他の2地域よりが高くなっている。

物価水準の最も高い財（商品）は、広島地域の「工業製品」の中の「繊維製品」で113.4と、全国平均より13.4ポイント高く、最も低い財は、備北地域の「工業製品」の中の「繊維製品」で94.1と、全国平均より5.9ポイント低くなっている。

3地域間で最も差が大きい費目は、「工業製品」の中の「繊維製品」で、最も高い広島地域（113.4）と最も低い備北地域（94.1）との間に19.3ポイントの差がある。

また、「出版物」は、3地域においてほぼ同水準となっている。（表11、図30）

図30 広島県内地域別、財分類別物価水準（全国平均=100）

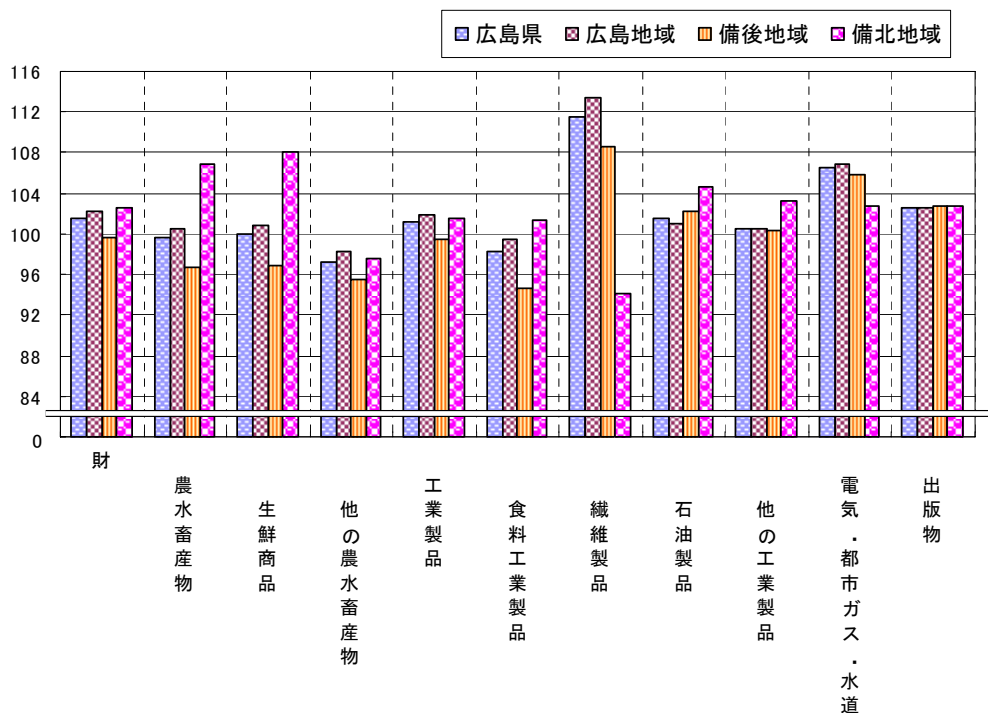


表11 広島県内地域別、財分類別物価水準（全国平均=100）

地域	財	農水畜産物			工業製品				電気・都市ガス・水道	出版物	
		生鮮商品	他の農水畜産物	食料工業製品	繊維製品	石油製品	他の工業製品				
広島県	101.6	99.6	100.0	97.3	101.2	98.3	111.5	101.5	100.5	106.5	102.6
広島地域	102.2	100.5	100.8	98.2	101.9	99.5	113.4	101.1	100.5	106.9	102.6
備後地域	99.7	96.7	96.9	95.5	99.4	94.6	108.6	102.3	100.3	105.9	102.8
備北地域	102.5	106.9	108.1	97.5	101.5	101.4	94.1	104.6	103.3	102.8	102.8

イ サービス指数

サービスの物価水準は3地域ともに全国平均より低い。
 全国平均より高いサービスは、広島地域の公共サービスのみ。

サービスの物価水準は、最も高い広島地域が98.7、次いで備後地域の96.7、備北地域の92.7となっており、3地域ともに全国平均より低くなっている。

物価水準の高いサービスは、広島地域の「公共サービス」で100.3と全国平均より0.3ポイント高く、全国平均より高い唯一のサービスとなっている。

最も低いサービスは、備後地域の「一般サービス」の中の「民営家賃」で81.2と、全国平均より18.8ポイント低くなっている。

3地域間で最も差が大きい費目は、「一般サービス」の中の「他のサービス」*で、最も高い広島地域(99.3)と低い備北地域(87.9)との間に11.4ポイントの差がある。

また、「一般サービス」の中の「外食」は、3地域間で比較的差が小さく、最も高い広島地域(99.4)と最も低い備北地域(97.8)との差は1.6ポイントとなっている。(表12, 図31)

※他のサービス：家事関連、医療・福祉関連、教育関連、通信・教養娯楽関連のサービス

図31 広島県内地域別、サービス分類別物価水準（全国平均=100）

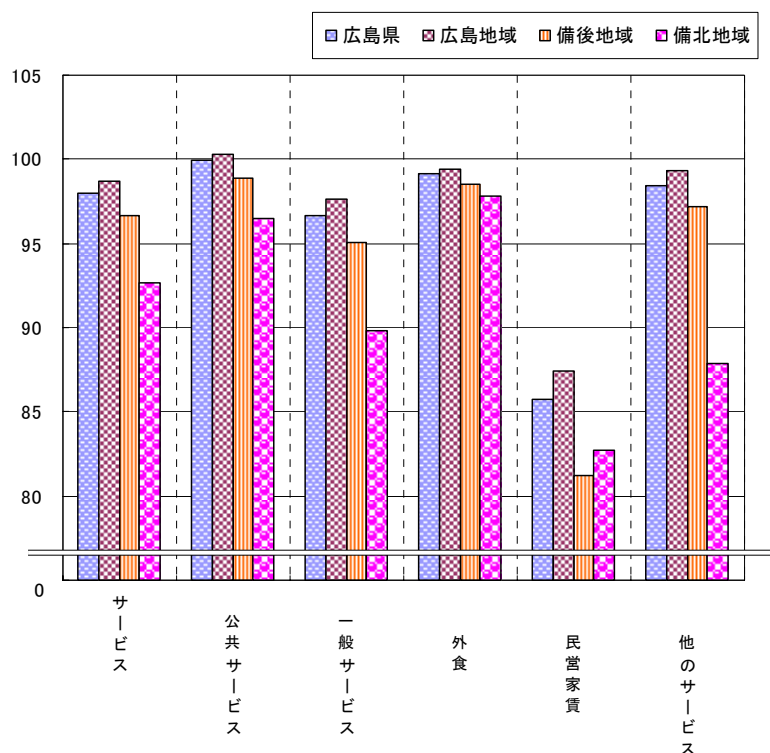


表12 広島県内地域別、財分類別物価水準（全国平均=100）

地域	サービス					
		公共サービス	一般サービス	外食	民営家賃	他のサービス
広島県	98.0	99.9	96.7	99.1	85.7	98.4
広島地域	98.7	100.3	97.6	99.4	87.4	99.3
備後地域	96.7	98.9	95.1	98.5	81.2	97.2
備北地域	92.7	96.5	89.8	97.8	82.7	87.9